

202 しりぞけ物悲しい影よ(結婚カンタータ)

1.朗唱 ソプラノ

しりぞけもの悲しい影よ
霜と北風は休まり
フローラの喜びはわれらの心に満ちる。
喜ばしい幸運だけでなく、
花を開かせる。

2.朗唱 ソプラノ

世は生まれ変わり、山も谷も
幾重にも着飾り 美しさを増す。
この日凍てつく寒さは去る。

3.アリア・ソプラノ

フェーブスは馬を駆けめぐり
生まれ変わった世界を駆けめぐる。
そお、この時から喜んでこの世を愛する人になる。

4.朗唱 ソプラノ

愛は喜びも求める。
牧場は笑うにあふれ、フローラは輝いて、
み国には花が咲き誇り勝利の喜び満つ。

5.アリア ソプラノ

春の風がそよぎ、
愛は人を信じる偉大な心の冒険を好む。

6.朗唱 ソプラノ

これが幸せ。恵みと祝福に満ちた宝をもって、
気高い道を行く 未来である。

7.アリア ソプラノ

愛してうけいれ、心に留めることは
フローラの過ぎ去る愛より、良い。
ここには花が咲き、笑いとまなざしがある。
勝利の手は唇と胸にある。

8.朗唱 ソプラノ

清らかな愛は二人をむすび、移り気から放ち
出来心を抑え、あなたの衝動を追い払う。

9.アリア ソプラノ

みよ、満ち足りた輝く日々、幸せが来て、
間もなく時は過ぎる。
あなたの夢は花開く。

8.清らかな愛の絆は 朗唱 ソプラノ

清らかな愛の絆は二人を結び移り気から放ち
でき心を抑え、あなたの衝動を追い払う。

9,みよ、満ち足りた輝く日々
みよ、満ち足りた輝く日々
幸せがきて
間もなく時は過ぎる。
あなたの夢は花開く。

解説 (wikipediaより)

成立年代は不明で、親しい知人の結婚式を祝うための作品であったと考えられている。全9曲からなり、ギリシャ神話を題材にした上品な作品で、ソプラノ用の独唱曲であることから、数多くのソプラノ歌手が挑戦してきた作品である。

成立

成立はもっと古く、ケーテン時代(1717年 - 1723年)に遡るとするのが定説である。さらに遡ってヴァイマル時代の作品である可能性を示唆する学者もいる。